

各 教 育 事 務 所 長 様
各 市 区 町 村 教 育 委 員 会 教 育 長 様
各 小 ・ 中 学 校 長 様
関 係 各 位

平成30年9月吉日

福島県白河市教育委員会教育長 芳賀 祐司
福島県白河市立白河第二小学校長 佐久間 芳雄

平成30年度 福島県白河市教育委員会指定

第37回研究公開

〈第2次案内〉

研究 主題

「教科の本質に基づき、
児童の主体的学習態度を育てるためには、
授業をどのように改善したらよいか。」



研 究 副 主 題

豊かにかかわり、表現し合う問題解決的な学習

〈国語科・社会科・算数科・理科・特別支援教育〉

平成30年11月12日 (月)

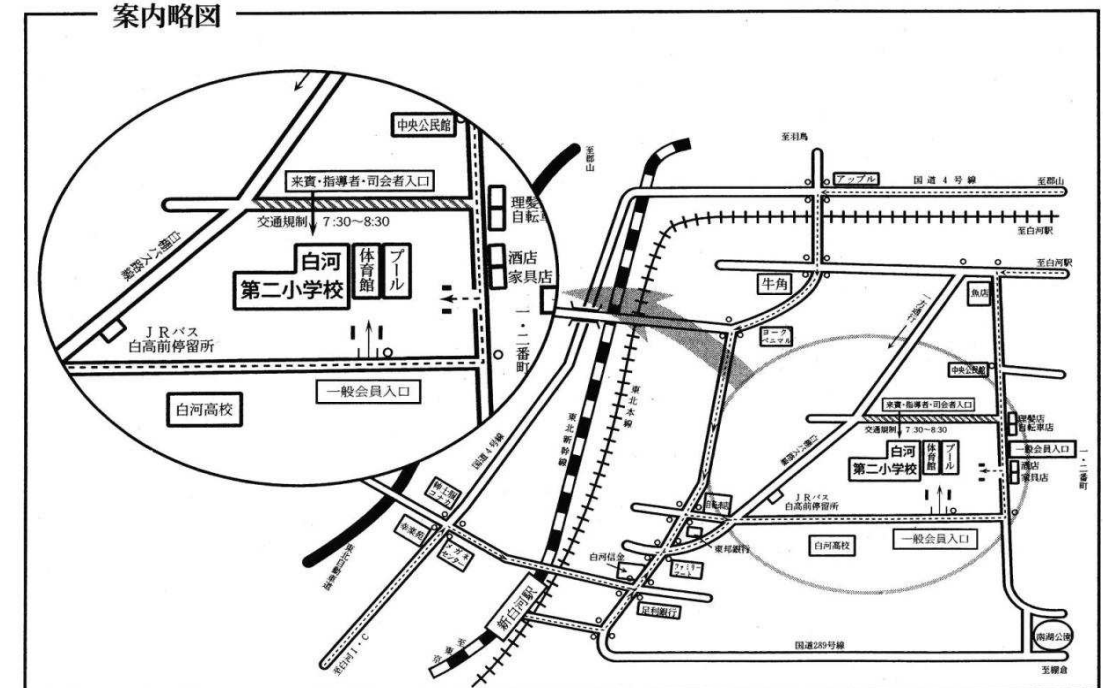
福島県白河市立白河第二小学校

〒 961-0963 福島県白河市日影2番地8
TEL 0248 (23) 3242 FAX 0248 (22) 1902
URL <https://shirakawa.fcs.ed.jp/>
E-mail shirakawa2-e@fcs.ed.jp



交通案内

- ◇ 東北新幹線 新白河駅下車（駅前よりタクシー5分・徒歩15分・JRバス白棚線 白河高校前下車徒歩5分）
- ◇ 東北本線 白河駅（駅前よりタクシー5分・徒歩15分）
- ◇ 入り口は校庭側になっております。自家用車又はタクシーでお越しの方は、校庭南側（白河高校側）又は、東側（一・二番町）よりお入り下さい。



昼食・宿泊

- ◇ 昼食のお弁当を本校で斡旋販売致します。昼食（500円・飲み物付き）をご希望の方は、別紙「参加申し込み書」にご記入下さい。
- ◇ 宿泊については、新白河駅周辺にホテルがございますので、直接お申し込み下さい。

研究資料代

- ◇ 実費1,500円をいただきます。（研究紀要・要項代）

申し込み方法

- ◇ 参加ご希望の方は、本校HP「第37回研究公開参加申し込みフォーム」又は、FAXにて10月31日（水）までにお申し込み下さい。
- ◇ 資料準備・会場設定の都合上、参加部会名を明記して下さい。
- ◇ FAXでの申し込みは、別紙「申し込み用紙」に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。
- ◇ 「参加申し込み書」は本校HPからダウンロードできます。
白河市小中学校ポータルサイト <https://shirakawa.fcs.ed.jp/>

問い合わせ

福島県白河市立白河第二小学校

〒 961-0963 福島県白河市日影2番地8
TEL 0248 (23) 3242 FAX 0248 (22) 1902
URL <https://shirakawa.fcs.ed.jp/>
E-mail shirakawa2-e@fcs.ed.jp（研修主任 中畑まで）



毎日の授業の中で「豊かにかかわり、表現し合う」ことを通して、子どもたちに「生きる力」を育む問題解決的な学習を目指しています。

授業 I

国語	1の3	くらべてよう「じどう車くらべ」	遠藤 貴士
	2の1	せつめいのしかたに気をつけて読もう「しかけカードの作り方」	小林 奈緒美
	4の2	段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう「アップとルーズで伝える」	塩田 雄人
	6の1	筆者の考えをとらえ、自分の考えと比べて書こう「自然に学ぶくらし」	湯田 木綿子
社会	5の3	わたしたちの生活と工業生産「工業生産を支える」	設楽 タ貴
	6の3	日本の歴史「長く続いた戦争と人々のくらし」	菅野 聡
算数	1の1	くらべかた	小幡 綾香
	2の4	はこの形	荒井 委子
	3の2	分数	武木 望美
理科	3の1	明かりをつけよう	古市 裕子 鈴木 雷樹
	6の2	てこのはたらき	有賀 理香
特別支援	けやき1 (知的)	やさいをそだてよう「おみせやさんごっこ」(生活単元)	佐々木 美香
	なかよし2 (情緒)	三角形と四角形(算数・2年) 分数(算数・3年)	本田 優子

授業 II

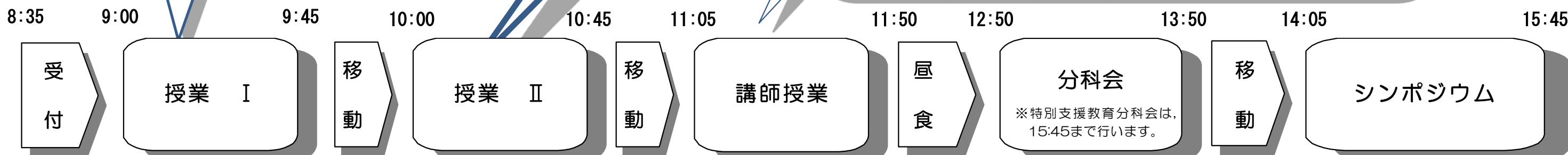
国語	1の2	こえにだしてよう「くじらぐも」	勝倉 来美
	2の3	じんぶつと自分をくらべて読もう「わたしはおねえさん」	古関 善修
	4の1	読んで考えたことを話し合おう「ごんぎつね」	高木 笑子
社会	3の3	はたらく人とわたしたちのくらし「店ではたらく人」	近藤 寛徳
算数	1の4	ひきざん	太田 恵子
	2の2	九九の表	山田 未来
	4の3	面積	鉄 あゆみ
	5の2	割合	吉田 勇樹 中野 和弘
理科	5の1	電流がうみ出す力	高橋 律子
特別支援	けやき2 (知的)	分数(算数・3年)	増子 友江
	なかよし1 (情緒)	ひきざん(算数・1年) 拡大図と縮図(算数・6年)	添田 理衣

分科会

教科の本質に基づく授業や学び合いながら考える力を育てる問題解決的な学習について協議します。
(国語・社会・算数・理科・特別支援教育)

筑波大附属小の先生方のすぐれた授業が見られます。

＜国語＞ 白坂 洋一 先生 ＜社会＞ 梅澤 真一 先生
＜算数＞ 大野 桂 先生 ＜理科＞ 佐々木昭弘 先生



テーマ 「豊かにかかわり、表現し合う問題解決的な学習」

＜シンポジスト＞筑波大学附属小学校教諭 白坂 洋一 先生・梅澤 真一 先生
大野 桂 先生・佐々木昭弘 先生

＜コーディネーター＞ 本校校長 佐久間 芳雄

筑波大附属小 白坂 洋一

◎ 『子どもの理論』で創る国語授業』

- 子どもの「学び」を問い直す
 - 「教師の論理」で授業は創られてこなかったか
 - 「引き入れる」から「引き出す」への発想転換
- 「子どもの論理」で創る国語授業ー3つの条件ー
 - 子どもたちの学びの必然性のある「問い」、「願望」
 - 子どもたちの気づきや問いの「連続・発展」
 - 子どもたちの学びの「自覚化」
- 子どもの思考の文脈づくりとしての教師の役割
 - 授業のストーリーづくりと対応力
 - 発問構成と問い返し

筑波大附属小 梅澤 真一

◎ 社会への関わり方を選択・判断する社会科の授業づくり

- 社会にみられる課題を把握する
 - 社会的事象をよくみる
 - 社会的事象について理解する
 - 社会にみられる課題を発見する
- 課題解決に向けてどうすべきか判断する
 - 社会にみられる課題における価値の対立に気づく
 - 対立事項のメリットデメリットを明示する
 - どちらの価値を大切にすべきか判断する
- 判断したことを生活に生かす
 - 価値判断した内容をもとに意思決定する
 - 周りの他者と合意形成を図る
 - 生活に生かす態度を持つ

筑波大附属小 大野 桂

◎ 子どもの素直さに向き合って授業を創る

- 教師は子どもと本当に対話をしているのか
- 誤答に向き合う

筑波大附属小 佐々木 昭弘

◎ 『深い学びを促す「問い」が変遷する授業』

- どうなる？(結果)を問う
 - 知識・理解(わかる)
- どうする？(方法)を問う
 - 実験観察の技能(できる)
- どうして？(理由)を問う
 - 科学的思考(考える)

4人のシンポジストが「豊かにかかわり、表現し合う問題解決的な学習」を語ります。

白河第二小学校 第37回研究公開 参加申込書

FAX 0248(22)1902

平成30年 月 日

学校名							TEL			
所在地		〒 ー								
No.	職 名	氏 名	分 科 会					昼食希望	自家用車	備考
			国 語	社 会	算 数	理 科	特別支援			
例	教 諭	白 河 太 郎	○					○	有・無	
1									有・無	
2									有・無	
3									有・無	
4									有・無	
5									有・無	
6									有・無	
7									有・無	
8									有・無	
9									有・無	
10									有・無	

※ 希望の欄に○をつけて10月31日(水)までにお申し込み下さい。
〈お問い合わせ〉

白河市立白河第二小学校

〒961-0963 福島県白河市日影2番地8

TEL 0248(23)3242 FAX 0248(22)1902

研修主任 中 畑 純 まで